

## 平成 25 年度第 1 回練馬区立石神井公園ふるさと文化館運営懇談会会議の概要

- 日時 平成 25 年 9 月 4 日(水) 午前 10 時 ～ 正午
- 場所 ふるさと文化館 多目的会議室
- 出席者 委員 13 名
- 議事等
- 1 文化・生涯学習課長挨拶
  - 2 議事
    - (1)平成 24 年度事業報告について
    - (2)平成 25 年度事業について
    - (3)石神井公園ふるさと文化館分室の整備について
    - (4)その他
- 傍聴者 なし
- 配布資料
- 1 練馬区立石神井公園ふるさと文化館運営懇談会委員名簿
  - 2 平成 24 年度事業報告について
  - 3 平成 25 年度事業について
  - 4 案内図(分室)
  - 5 仮称練馬区立日本銀行石神井運動場跡地公園クラブハウス内における文化芸術資産活用の事業について
  - 6 入館者数推移(平成 25 年 8 月 31 日現在)
  - 7 石神井公園ふるさと文化館ニュースNo.10
- 参考資料
- 練馬区立石神井公園ふるさと文化館条例  
練馬区立石神井松の風文化公園条例  
練馬区立石神井公園ふるさと文化館運営懇談会設置要綱

### 会議の概要

事務局 [改選委員の紹介・委嘱]

文化・生涯学習課長

本日は暑い中お集まりいただきありがとうございます。毎年この時期は非常に暑く、ふるさと文化館、美術館とも人出が少なくなりますが、文化館につきましてはプールが併設せれており、比較的に入館者数は順調に推移しております。

前回の懇談会にて資料をお示ししました指定管理につきましては、平成 26 年 3 月まで区直営とし、4 月からは指定管理者制度で運営したいということで進めており、「公益財団法人 練馬区文化振興協会」を特定して選考中となっております。様々な提案をいただいているところで、今後選定委員会等を経て議会で議決をいただいた後、4 月から指定管理での体制で進めていきたいと考えております。また合わせまして、日銀グランド跡地を区が購入し公園として開設いたします。本日出席の皆様の中からもお手伝いいただきながら、基本計画等を作成し、いよいよ開園となります。グランドの中にクラブハウスがあったのですが、ここを利用し様々な展示をすることを考えております。こちらは、ふるさと文化館の分室として運営をしていきたいと考えておりますのでご意見等いただきたいと思っております。

ふるさと文化館も 4 年目となり、真価が問われる時期になると思っております。様々なご

意見を参考にしながら館長以下努めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

座長 それでは議題に入りたいと思います。本日の会議の進め方について、事務局から説明がありますか。

事務局 懇談会の公開についてご説明させていただきます。附属機関等の会議の公開および区民公募に関する指針に基づきこの会についても原則公開とさせていただきます。公開方法につきましては、傍聴および議事録のホームページ掲載等によるものとさせていただきます。傍聴手続き等につきましては、「附属機関等会議傍聴基準」を準用してまいります。議事録については事務局が作成し、委員にご確認いただいたものを公開することとしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

座長 皆さんいかがでしょうか。異議なければ進めさせていただきます。本日の傍聴はありますか。

事務局 ございません。

座長 では、次第に基づいて(1)平成24年度事業報告について(2)平成25年度事業について事務局より説明をお願いし、後程まとめて、ご意見ご質問等いただきます。(1)につきましては前回の懇談会にて2月までの報告がございましたので3月の内容が中心になるかと思っております。

事務局 [資料2, 3, 6の説明]

座長 ただ今の報告につきまして、ご意見ご注文その他、順にご発言をお願いしたいと思います。

委員 平成25年度事業のなかの大人のためのものづくり講座をもう少し増やしてほしい。他の事業を見ますと子どもさん向けに考えられていると感じますので大人のためのものづくりも増やすとっと楽しくなると思います。

委員 とても良い展示・企画が考えられていると思います。私事の確認ですが、先日図書を寄贈いたしました、どのようになりますでしょうか。

委員 来館者とお話をしていると、近くにお住まいでも初めて来たという方が意外に多く驚きます。そういった方に館の感想をお聞きしし情報収集しておりますが、リピーターを増やさなければいけないと感じる中、第1回手工芸公募展は非常に良かったという印象があります。来館者を見ますと、ものづくりで自己の表現をしたい方が多く、それができるふるさと文化館ですから公募展をやりますと来館者も増えます。やはり館自体、参加型の企画も増やしていく必要を感じます。

委員 2点ほどあります。1点はサポーター120名の質が非常に高いのですが、自主研究をされている方もいらして、その部分のリストアップをお願いしたい。2点目は、25年度のふるさと文化講座です。以前からお願いしておりますが、加藤正世さん「セミ博士」の展示をお願いします。また武州石神井邑油屋勝右衛門さんの子孫の方の講演だけでも検討していただきたい。それから、今日新たなお願いですが、富士山と練馬というテーマで何か考えられないでしょうか。練馬区内、4つの富士塚、富士見台、富士街道という地名もあります。この近くから撮影した富士山の写真で非常にきれいなものをお持ちの方もいます。また、豊島園

に戦前不二撮影所がありまして1, 2年で解散になり、その後富士フィルムに買い取られました。大泉在住の活動弁士 片岡一郎さんが当時のフィルムを2, 3本持っていると聞いております。富士山と合わせて何かできないかと思っています。

委員 手工芸公募展に携わっておりますが、来館者からは、展示をご覧になって「自分もがんばらなければ」という声も聞かれます。本年度のランプシェードも好評で、大人のためのものにづくりを他にもやられたら喜ばれると思います。

委員 館での事業に関しては様々な提案がありますので申し上げることはありません。資料のわかりにくい点は改善してほしいと思います。

この近辺の自然についてですが、石神井タヌキモは絶滅していて間違いないと思います。ミツガシワも現在三宝寺池にもほとんどありません。石神井中学の池にわずかに残るだけとなっております、この館でも保存への力添えをいただきたいと思います。

委員 24年25年を拝見しまして、当初想定したよりもはるかに頑張っており、と感心しています。心配なのは26年度からの指定管理者もこの勢いでやってくれるのか。予算の削減も関係するでしょうが、今まで以上に前向きな取組を、というふうに引き継いでいただきたい。また、個々の事業については、大人のためのものづくりはさらに拡充してほしい。特に食べ物を扱うトリピーターが増えると思います。うどんやまんじゅう等練馬らしいものを皆で作って皆で食べるということがあるといいと思います。様々な制約があるとは思いますが、生きた古民家を心掛けていただけるといいと思います。

座長 日本の行政の中で多くの制約がありますのでそこをどう乗り越えるか検討の必要があります。

副座長 現在、2階企画展示室でねりま手工芸公募展が行われております。手工芸作家展については立ち上げて17回目となりますが、練馬区71万区民の中には多種多様なことをやっっているながら発表の場がないとの声があり、現代工芸、伝統工芸を含め文化のという観点から区にお話しをし、他区にない試みとして度重なる会議を経まして伝統工芸会の皆様や練馬区のご協力いただきここまで来ました。後程お時間がありましたらご覧いただき、批評などいただければありがたいと思います。来年につなげていきたいという気持ちもありますので今後ともバックアップをお願いいたします。

委員 各区にもふるさと文化館にあたる郷土資料館がありますが、前任の区にもございました。中学校での利用に関しましては、生徒数や交通手段の面で難しい面もあり、近隣の中学校の利用が主となっているようです。今後、区内34校の生徒をこちらの館で学習させるという課題は1つありますが、逆に出前授業という形も伸びが見込まれ、お願いする場面もあるのではないかと感じています。また、ベテラン教員の退職の時期となり、若い教員が入ってきております。前任区では新任教員を集め区内の施設をめぐるということをやっております。練馬区ではやっていますが、若い教員にも文化館に来る機会が必要だと思います。生徒たちは職場体験もやっておりますが、館の仕事をやる中で展示やイベ

ント等にもふれるということをやっただいており、様々な学習に活用できるように全中学校にも周知していきたいと思ひます。

座長  
委員  
委員

新任教員の区内めぐりとほどのような規模でしょうか。

1日バス1, 2台をチャーターしまして羽田空港などの工業地帯、歴史の面では郷土資料館等、各施設にて説明を受け、区内施設を把握するという研修です。

小学校は大変こちらでお世話になっております。まずは65校を代表しましてお礼を申し上げます。子供たちの見学先を考える際は4つの観点があると思ひております。1つは内容です。こちらは具体物があり触れることができ、体験することができる。このことが小学生には非常に求められていることでして、大変ありがたく思ひております。展示内容についてもサポーターの方が質問に随時答えてくださり、練馬の子供たちが地域を知るために大変有意義な内容であると思ひております。2点目は安全性です。建物は新しく地震の際も心配なく、段差も少なく見学する子供たちの安全性が確保されています。3点目は広さです。100人近い子供が見学するのに十分な広さがあり、ポイントの1つとなります。4点目は距離です。区内のどこからでも来ることができ、石神井公園にも隣接しており昼食をとるなど、利便性が高くなっております。以上4点から、小学校3年生が主に使っておりますが、ありがたい見学先となっております。小学校でできることとしまして、事前学習はございますが、3年生ですとイメージがない中で説明しましても難しいですので他の来館者に迷惑をかけない等の指導が中心となっております。1点お願いしたいのは、3年生が話に集中できる時間が短いため20分を超えてきますと注意散漫となってしまいます。その点をご承知おきいただければと思ひます。

座長

では、ご意見についてのご説明等をお願いいたします。整理しますと、まず大人のためのものづくり講座を拡充してほしいという意見、参加型の講座、展示を充実させ安定的に来館者を増やしていくことが必要ではないかという意見、文化講座についての具体的なご提案、次年度からの指定管理者について、また、新任教員の施設見学についてのご意見がございました。担当からお願いいたします。

事務局

大人のためのものづくり講座につきましては実施の手応えからも需要があると感じ、今後増やしていく方向で考えております。また、参加型の利用に関しましても、このたびの手工芸公募展の反響などから来館者層や利用の広がりを感じておりますので、より充実させる方法を検討してまいります。

「セミ博士」加藤正世氏のコレクション展に関しましては、関係者からもご提案をいただき相談を重ねているところです。ただ、東京大学においてコレクションの調査途中ということもあり、もう少し時間をいただいたうえで展示会として実現したいと思ひております。「富士山と練馬」については、26年度に練馬の富士塚、富士講などからめた特別展として計画を進めております。

新任教員の施設見学会については検討中ですが、中学校では区中研の社会科部会で当館をご利用いただいているほか、小学校では区内全校の3年生に社会科見学で来館いただいていることから、関係する先生方に各校内での周知をお

願っているところです。

最後に、寄贈図書についてですが、ライブラリーにて供覧させていただいているほか、史料として貴重なもの、展示に供することが望ましいものにつきましては、別途保管し、関連の展示等で活用させていただいております。

商工観光課長

観光を所管しておりますので関連のお話をさせていただきます。商工観光課では観光協会も所管しております。こちらの館は観光資源として有用なコンテンツでございますので極力連携をし、PRの面では観光協会も積極的に協力できればと考えております。富士山につきましては先日、観光協会のホームページに紹介しています富士塚について 2社ほど報道機関から取材が来まして小さな記事となりました。特別展も予定されているとのことですのでアニメも含めまして連携を深めていきたいと考えております。

文化・生涯学習課長

指定管理者制度につきまして心配の声も聞かれますが、より良く、様々なことができるのではと考えております。その根拠となりますのは、1つに、指定管理を行う団体は練馬区が文化芸術、生涯学習の振興のために設置した団体であり、区と連携し、区の方針に基づいて事業展開していくことが明記されているためです。2点目は、現在文化センターを中心に、舞台、芸術関係の事業を展開しておりますが、そこに合わせてこの館、次に美術館と基本的な考え方をまとめておりますので各館での事業連携を機動的に行えると考えております。3点目は指定管理後も懇談会を設置することが条件となっておりますので、また皆様からのご意見を頂戴しながら、直営よりも良い館にしていくことを目標としているということです。スタッフもより充実できると思っていますし、職員も数名派遣で残し継続性を損なわないよう考えております。指定期間5年間でさらに良くなっていくと思っておりますので、今後も皆様からのバックアップをお願いしたいと思います。

座長

皆様心配している点は、現在大変細かな取組をされて、効率を求めるのではなく小さなニーズからはぐくんで継続して盛り立てている部分がたくさんあり、それらの総体がふるさと文化館ではないかと感じていますので、それらが損なわれないようお願いしたいと思います。

委員

派遣職員とは学芸員でしょうか。

文化・生涯学習課長

学芸員も含めてということです。

座長

議事3の石神井公園ふるさと文化館分室の整備について、事務局よりお願いいたします。

事務局

〔資料4, 5, 参考資料説明〕

座長

ご質問等お願いいたします。

委員

私は非常に期待しております。練馬の著名人の中から50数人あがっておりましたが、今までの所蔵資料を見ていると五味康祐さんからの寄贈が非常に多く、ついで檀一雄さんというくらいで、まだ多種多彩の著名人がいます。バランスを考え

ながら収集にも力を入れてほしいと思います。

委員 新しく分室ができますが、具体的に誰が管理していくかということです。分室で様々な展示をする中、だれがサポーターの役割をしていくのか、指定管理者の活動と練馬区の関係がはっきりしないので説明が先送りとなっていますがいかがでしょうか。

文化・生涯学習課長

ふるさと文化館の分室ですので順調に進めば文化振興協会が管理することになります。建物自体の維持管理は公園側ですので、部屋の管理となります。今のところ、職員が常駐するという考えが示されています。サポーターの方々が文化館と同じように展示に携わるかは未定です。サポーターさんには引き続きいろいろな面での活躍をお願いしたいとの話がありますので、今後も関わっていただくことになるかと思います。また、資料の収集につきましては、文学や人に関わる部分も枠を広げてまいりたいと考えており、そのための収蔵庫も整備されています。

副座長 1点は、分室についての懇談会もあるのでしょうか。もう1点は、公園の管理者とも一体となる必要を感じますがいかがでしょうか。また、生涯学習センター等、区内の文化施設とのつながりはどのようになっていきますでしょうか。

座長 時間もなくなってまいりましたが、小さなお子様の集中力についてのお話がありました。経験等からいかがでしょうか。

委員 学校見学の説明については学芸員と郷土資料調査員がやっております。サポーターは見守りやその後の個別の質問に答えるようなお手伝いになります。

座長 土器の組み立てに夢中になったり天秤棒の体験を楽しんだり池淵玩具店などは大変人気があり、子供さんの来館は大事だと思います。

委員 学校での見学の後、子供たちが家族を連れてくるというリピーターが非常に多いです。もっと良く見たいということで家族や兄弟をつれて来ています。

委員 校長先生方もいらしていますので館の利用法についてですが、学校見学後のリピーターを中心に地域と子供たちとの交流の場ともなっております。教育現場では学校と家庭との関係だけでなく、地域と学校と家庭の中で子供たちが健全に育っていくと思いますが、今の日本の教育では地域とのふれあいが非常に少ないです。ところがここはサポーターへの教育も行き届いており来て安心して地域の人たちとふれあって大人たちがどのようなことを考えているか子供が知る場にもなっています。学校側からも、友人家族を連れての来館を積極的に促して、文化館を活用していただきたいと思います。

委員 子供達の集中力が切れてしまうのは主に会議室での説明時です。展示見学の際はそのようなことは無いと思います。また、学校見学以外の来館も、子供同士または家族でとすすめております。

座長 資料の中にミュージアムショップの売上げについての報告がありますが時系列にあげていただくと解りやすいと思います。世界的に見ますと、ミュージアムショップというのは重要でルーブル美術館の収入の3割を占めると言われます。ミュージアムグッズはそこへ行った思い出とともに知的文化的活動への興味を啓発するものでもありますので今後参考にされるといいと思います。

次回の開催等について事務局にお戻しいたします。

事務局 次回は指定管理者について議会での結果報告が中心となるかと思しますので今後ともよろしく願いいたします。本日はお忙しい中ありがとうございました。